

平成 17 年 度

平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日

事 業 報 告 書  
収 支 計 算 書

社団法人日本バックグラウンド・ミュージック協会

# 平成17年度事業報告

自平成17年4月1日 至平成18年3月31日

## 1. BGMの研究調査及びその助成

### (1) 研究調査事業

研究調査事業では、BGMをはじめとした音・音楽に関する研究調査への助成として、BGMに関する音楽基礎調査、音楽メディア開発、サウンドスケープ研究、環境音楽研究、音響技術開発、アートマネジメント、医療・福祉と音楽等の領域を対象とし、若手研究者の活動を支援する。今期は下記の調査研究を助成した。

『公共空間における音環境デザイン』

田中直子氏（サウンドスケープ研究、二松学舎大学講師、宮城女子学院大学講師）

### (2) 市場調査事業

市場調査事業では、BGMの導入市場及び導入可能市場について、音源、再生システム、利用者の関心・評価等について調査する。今期は下記の調査研究を助成した。

『勤労者と音楽～メンタルヘルスと快適職場環境とのかかわり』

中井紀夫氏（フリーライター、ハウス・ミュージシャン、日本音楽家ユニオン運営委員）

## 2. BGMの普及・啓蒙及び指導

### (1) BGM協会セミナーの実施

BGMとその周辺情報をテーマとしたセミナーを年2回実施、情報提供を行う。今期は下記の通り開催した。

#### 第16回BGM協会セミナー

平成17年10月7日（金） 午前10時20分～午後3時30分 海運クラブ303号室ほか

テーマ：BGMのこれからを考える

基調講演：『成功する環境音楽企画の立て方～コンセプトからプレゼンまで～』

講師：泉山中三氏（協会理事・東海大学名誉教授）

分科会：分科会1『データに見るBGM業界の動向』

話題提供 / 大塚英昭氏（総務委員会著作権部会長・ピクチャーアークス(株)SP営業部部長）

分科会2『ITとBGM』

話題提供 / 齋藤正志氏（株スバル・エム代表取締役社長）

贅川和彦氏（オーピチューン(株)取締役）

分科会3『環境音楽企画の分野別事例』

話題提供 / 泉山中三氏 (協会理事・東海大学名誉教授)

第17回BGM協会セミナー

平成18年2月14日(火) 午後2時~5時 プラザエフ“コスモス”

テーマ: 勤労者のメンタルヘルスと音楽

講演1: 『オフィスワーカーを対象としたメンタルヘルスへのBGMの効果と役割』

講師: 木山良知氏 (株エルエー企画代表)

講演2: 『音楽はカウンセラー』

講師: 東條芙紗恵氏 (三井化学(株)本社健康管理室上級カウンセラー)

(2) レクチャーコンサートの開催

広くBGMの理解普及を図ることを目的に、協会創立25周年事業として3回シリーズで企画された最終回を行った。今回は、日本文化と接点を持って活動する日本在住外国人アーティストによるレクチャーコンサートとして下記の通り開催した。

タイトル: 『環境音楽2005~音の群れ・時の花・日本の現代風姿考』

開催日時: 平成17年10月6日(木) 午後6時開場 午後6時30分開演 午後8時45分終演

会場: 草月ホール(東京都港区赤坂)

出演: ジョン 海山 ネプチューン氏(尺八ほか)

ブルース・スターク氏(ピアノ)

サイ・イエングアン氏(ソプラノ)

ピーター・バラカン氏(ブロードキャスター/トーク)

飯島晶子氏(ナレーター/司会進行)

後援: 文化庁、社団法人日本音楽著作権協会

協力: (株)テムコジャパン

寄稿: 小川博司氏(協会理事・関西大学教授)

田中直子氏(サウンドスケープ研究)

デザイン: ファンスペースファクトリー

舞台製作: office SOGA

特記事項: バリアフリー対策の実施と提案

骨伝導音声増幅装置を利用した聴覚障害者の招待、同装置の解説・体験コーナーの開設、パンフレットの配布

コンサート招待

「毎日新聞」, 「フジサンケイ ビジネス アイ」, 「サンケイスポーツ」, 「タ刊フジ」にてチケット希望者を募集。24名を招待。

来場者合計: 274人

(3) ブロック会議の開催

会員社間で協会活動の理解を一層深めるとともに、BGMを取り巻く環境や技術等を紹介し意見交換を行った。

北陸・信越ブロック会議 平成17年11月17日(木) ゆのくに天祥(加賀市)  
中国・四国ブロック会議 平成18年1月26日(木) 三光荘(岡山市)  
東海・近畿ブロック会議 平成18年3月16日(木) 関西文化サロン(大阪市)

### 3. BGMに関する内外の情報の収集と提供

#### (1) 資料室の図書資料等の収集と閲覧

現在、協会事務局に収蔵されている資料を整理するとともに、平成17年度に出版されたものや会員社から寄せられた資料等を適宜収集した。閲覧については協会に来場した会員社及び一般について対応した。

#### (2) インターネットによる情報の提供

協会内外の利用の促進とページ内容の充実のため、全面的な改訂を実施すると共に、協会刊行物・BGM協会セミナー・『環境音楽2005』などの案内、音・音楽に関するエッセイ・取材記事などを適宜掲載し、幅広く情報の提供を図った。また、ホームページを利用した収蔵資料のデータベース化を検討した。

#### (3) BGM相談室の開設

会員社及び一般からの電話、メール、文書等による照会・相談について対応した。

### 4. BGMに関する出版物の発行

#### (1) JBA資料の発行

BGMとその周辺の情報をJBA資料として下記のとおり発行頒布した。

JBA資料37『オフィスワーカーを対象としたメンタルヘルスへのBGMの効果と役割～精密機器メーカー調査事例から～』

著者/株エルエー企画 木山良知氏・小川哲太郎氏

JBA資料38『勤労者と音楽～メンタルヘルスと快適職場環境との関わり』

著者/フリーライター、ハウス・ミュージシャン、日本音楽家ユニオン運営委員

中井紀夫氏

JBA資料39『音環境デザインの現況と可能性～音・音楽の在り方をめぐって』

著者/サウンドスケープ研究、二松学舎大学講師・宮城女子学院大学講師 田中直子氏

(いずれも研究開発委員会、市場調査事業報告書)

#### (2) BGM協会報の発行

BGM協会セミナーの講演録をBGM協会報として下記の通り発行頒布した。

Vol.22『成功する環境音楽企画の立て方』 泉山中三氏(協会理事・東海大学名誉教授)

(第16回BGM協会セミナー基調講演)

(3) 会報「TONE<sup>2</sup>通信」の発行

協会状況の会員への広報及び会員情報・外部情報伝達等のため、会報「TONE<sup>2</sup>通信」を発行した。今年度は、年5回、6号を下記の通り発行した。

Vol.43(4月)    Vol.44(6月)    Vol.45(8月)    Vol.46・47(合併号。12月)  
Vol.48(2月)

(4) 資料集の発行

第17回BGM協会セミナーと連動し、講演内容を補足するため、資料集として下記を発行頒布した。

『成功する環境音楽企画の立て方』 泉山中三氏(第17回BGM協会セミナー講師)

(5) 印刷物の電子メディア化

印刷物の電子メディア化の検討を進めた。

5. その他の事業

(1) 後援・協賛活動の実施

後援・協賛活動として下記を実施した。

協賛 / 「第35回店舗総合見本市 JAPAN SHOP 2006」に名義協賛

開催期間：平成18年3月7日～10日

会場：東京ビッグサイト

主催：日本経済新聞社 / 店舗システム協会主催

協力 / JASRAC 講座『音楽の力』シリーズの構成・進行に協力

第1回「音楽の不思議な力～音楽が酒類・食品の味を良くする」(平成18年3月8日)

第2回「音楽の力～空間や環境を活かす音楽」(平成18年3月23日)

会場：けやきホール(東京都渋谷区)

主催：社団法人日本音楽著作権協会

(2) BGMに関わる著作権・著作隣接権の管理・普及支援

BGMに関わる録音権、演奏権、複合権をはじめ著作権・著作隣接権について調査研究を行うとともに、関連団体と折衝してその管理・普及を支援した。

JASRAC 使用料規定の改訂について、「第5節 蓄音機用音盤」と「第7節 録音テープ」を統合して「第5節 オーディオ録音」とする等を JASRAC と協議しこれに同意した。背景音楽(BGM)用貸出録音物に関する録音権の処理管理について当該録音物を制作録音する甲種会員を中心にその管理徹底を行った。

BGMに関わる演奏権の元栓処理について、会員各社の当協会に対する報告に基づき平成

17年度新規契約BGM事業所の「JASRAC 元栓処理許諾表示証」の配布を JASRAC との契約により引き続き行い、各地域の演奏権処理非協力事業所の対策について会員及び関連団体と協議連絡を行う等、周知徹底を行った。

インタラクティブ送信における業務用複合権処理を会員社に連絡するとともに、実施会員4社の担当者、JASRAC 等と協議を行い、そのルール作りと運営管理の周知徹底を図った。

JBA資料等BGMに関する著作権・著作隣接権に関する情報の提供を行った。

### (3) その他

協会の目的を達成するために必要な運営上の課題として下記を検討・実施した。

協会名称の変更について引き続き研究した。政府は行政改革の一環として公益法人制度改革を目指しており、今後決まる認定委員会の方向が見えるまで、協会名称変更について保留することとした。

会員の拡大について、今年度は4社の正会員社の入会があったが、正会員1社、賛助会員1社の退会があり、増減は2社増となった。

組織・制度の整備について検討した。

事務局の整備について検討した。

### 平成17年度委員会組織について

下記の委員会を置き、協会事業を推進した。

総務委員会（総務部会・著作権部会）

広報委員会（セミナー部会・会報編集部会・ホームページ運営部会）

研究開発委員会（研究調査部会・データベース部会）

環境音楽2005実行委員会

\*\*\*\*\*

### 会員社数（平成18年3月31日現在）

正会員47社（甲種正会員6社、乙種正会員41社）、賛助会員5社

会員社合計52社

入会：正会員 4社      (株)ビー・ジー・エム・サービス（乙種会員・大阪市）

(株)DMXMUSIC Japan（乙種会員・東京都）

テクノシステム(株)（乙種会員・京都市）

(株)エムネット（乙種会員・東京都）

退会：正会員 1社      (株)FBC オンパイ（乙種）

賛助会員 1社      (株)ジーケイ

増減：2社増

会員社社名変更

(新) (株)音と映像

(旧) (株)R K B 毎日ミュージック・システム

協会代表変更(敬称略)

東北放送施設(株)

(新)代表取締役社長 羽根田祐子

(前)代表取締役社長 伊藤豊生

(株)コスミック

(新)代表取締役社長 笠井 貢

(前)代表取締役社長 笠井辰夫

(株)R C C文化センター

(新)ソフト企画推進部部长 山川智哉

(前)代表取締役社長 三宅恭次

(株)第一興商

(新)執行役員衛星放送事業部長 黒川憲太郎

(前)執行役員衛星放送事業部長 田原弘恒

役員の変更(敬称略)

なし

平成17年度役員一覧(平成18年3月31日現在 敬称略)

会 長	藤田 勲	(株)サウンドシステム 代表取締役会長
副 会 長	速水彰夫	(株)ニッポン放送プロジェクト 代表取締役社長
常任理事	田中保生	(株)音映システム 代表取締役社長
	西平宏太郎	東洋メディアリンクス(株) 代表取締役社長
	水野康隆	ビクターアークス(株) 代表取締役社長
理 事	泉山中三	東海大学名誉教授
	一ノ瀬 博	(株)毎日映像音響システム 代表取締役社長
	小川博司	関西大学教授
	倉田 光	(株)A B C メディアコム 代表取締役社長
	曾根敏夫	秋田県立大学教授・東北大学名誉教授・工学博士
	村井靖児	聖徳大学教授・医学博士
	山下篤男	(株)西日本音楽映像 代表取締役社長
	山下充康	小林理学研究所理事長・工学博士
	横溝亮一	音楽評論家・プロデューサー
	吉田登美男	拓殖大学名誉教授・工学博士・文学博士
	若尾 裕	神戸大学教授
監 事	新井省三	新井会計事務所・税理士
	池羽伸美	日本レディフュージョン(株) 代表取締役社長

理事16名(内会長1名、副会長1名、常任理事3名)、監事2名 計18名

主 要 会 議 ・ 主 要 事 項 ・ 記 録  
自平成17年4月1日 至平成18年3月31日

科目・日時・場所	摘 要
<p>( 総 会 )</p> <p>第39回定時総会 平成17年6月7日(火) グランドヒル市ヶ谷翡翠の間</p> <p>第40回定時総会 平成18年3月7日(火) 海運クラブ304号室</p>	<p>下記議案審議可決</p> <p>第1号議案 平成16年度事業報告並びに収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録承認の件</p> <p>第2号議案 役員改選に伴う新理事・監事候補承認の件</p> <p>第3号議案 退任功労者への感謝状・記念品贈呈の件</p> <p>報告事項 * 監査報告 * 異動報告 * 第61回理事会決議報告</p> <p>下記議案審議可決</p> <p>第1号議案 平成18年度事業計画案並びに収支予算案承認の件</p> <p>報告事項 * 新入会員社紹介 * 各委員会活動報告</p>
<p>( 理 事 会 )</p> <p>第60回理事会 平成17年5月16日(火) 海運クラブ308号室</p> <p>第61回理事会 平成17年6月7日(火) グランドヒル市ヶ谷琴の間</p> <p>臨時理事会 平成17年12月13日(火) ルポール麹町真珠の間</p>	<p>下記議案審議可決</p> <p>第1号議案 平成16年度事業報告並びに収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録承認の件</p> <p>第2号議案 役員改選に伴う新理事・監事候補承認の件</p> <p>第3号議案 退任功労者への感謝状・記念品贈呈の件</p> <p>第4号議案 第39回定時総会開催の件</p> <p>報告事項 * 異動報告 * 各委員会活動報告</p> <p>下記議案審議可決</p> <p>第1号議案 会長・副会長・常任理事・委員長互選の件</p> <p>第2号議案 入会希望申請社入会承認の件</p> <p>第3号議案 特別会員選任の件</p> <p>下記議案審議可決</p> <p>第1号議案 入会希望社入会承認の件</p> <p>第2号議案 会費延滞会員社除名の件</p> <p>第3号議案 音環境保全基金開設の件</p>

科目・日時・場所	摘 要
<p>第62回理事会 平成18年2月7日（火） 海運クラブ302号室</p>	<p>下記議題審議報告 第1号議案 平成18年度事業計画案並びに収支予算案承認の件 第2号議案 入会希望社入会承認の件 第3号議案 第40回定時総会開催の件</p>
<p>（常任理事会）</p> <p>第1回常任理事会 平成17年4月19日（火） 協会会議室</p> <p>第2回常任理事会 平成17年7月15日（金） 協会会議室</p> <p>第3回常任理事会 平成17年9月13日（火） 協会会議室</p>	<p>下記議題審議報告 1．役員改選について 2．平成16年度事業報告・決算について 3．第60回理事会日程変更について 4．その他</p> <p>下記議題審議報告 1．委員会編成について 2．未収会費の処理について 3．JASRAC文化事業への協力について 4．各種アンケートについて 5．その他</p> <p>下記議題審議報告 1．会費滞納社の処置について 2．音・環境保全研究寄付金の取り扱いについて 3．JASRAC文化事業への協力について 4．その他</p>
<p>（理事懇談会）</p> <p>理事懇談会 平成17年12月13日（火） ルポール麹町真珠の間</p>	<p>下記議題審議報告 1．各委員会活動報告 2．来期事業計画について 3．「音環境保全基金」の趣旨について 4．協会事業へのご意見、ご提案など</p>

科目・日時・場所	摘 要
<p>( 総務委員会 )</p> <p>第 1 回総務委員会 平成17年9月8日 ( 木 ) 東洋メディアリンクス(株) 会議室</p>	<p>下記議題審議報告</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 平成17年度事業の進捗状況について</li> <li>2 . 平成18年度事業計画案について</li> <li>3 . その他</li> </ol>
<p>( 広報委員会 )</p> <p>第 1 回広報委員会 平成17年11月29日 ( 火 ) ビクターアークス(株)会議室</p>	<p>下記議題審議報告</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 平成17年度事業の進捗状況について</li> <li>2 . 平成18年度事業計画案について</li> <li>3 . その他</li> </ol>
<p>( 研究開発委員会 )</p> <p>第 1 回研究開発委員会 平成17年9月8日 ( 木 ) 東洋メディアリンクス(株) 会議室</p>	<p>下記議題審議報告</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 平成17年度事業の進捗状況について</li> <li>2 . 平成18年度事業計画案について</li> <li>3 . その他</li> </ol>
<p>( 研究開発基金運営 プロジェクト )</p> <p>第 1 回環境音楽2005実行委員会 平成17年5月27日 ( 金 ) 東洋メディアリンクス(株) 会議室</p>	<p>下記議題審議報告</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 開催趣旨について</li> <li>2 . PR 方法について</li> <li>3 . 後援・協賛依頼先の選定について</li> <li>4 . 当日のステージ構成</li> <li>5 . セミナーとの連動について</li> <li>6 . その他</li> </ol>

科目・日時・場所	摘 要
<p>第 2 回環境音楽2005実行委員会  平成17年6月21日（火）  東洋メディアリンクス㈱  会議室</p>	<p>下記議題審議報告</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1．本公演趣旨について</li> <li>2．各種文書について</li> <li>3．後援・協賛依頼について</li> <li>4．パブリシティについて</li> <li>5．協会内 PR について</li> <li>6．HP での PR について</li> <li>7．プログラム編集部会の編成について</li> <li>8．ぴあチケット販売委託契約について</li> <li>9．当日の記録について</li> <li>10．舞台構成について</li> <li>11．ロビー展示について</li> <li>12．会場係について</li> <li>13．事後処理について</li> <li>14．その他</li> </ol>
<p>第 3 回環境音楽2005実行委員会  平成17年8月5日（金）  東洋メディアリンクス㈱  会議室</p>	<p>下記議題審議報告</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1．協賛・後援・協力について</li> <li>2．ぴあとの契約について</li> <li>3．各種編集について</li> <li>4．会員社への本案内について</li> <li>5．招待者について</li> <li>6．聴覚障害者招待について</li> <li>7．PR の方法について</li> <li>8．公演内容について</li> <li>9．今後のスケジュールについて</li> <li>10．当日の記録について</li> <li>11．予算について</li> <li>12．その他</li> </ol>
<p>第 4 回環境音楽2005実行委員会  平成17年9月27日（火）  東洋メディアリンクス㈱  会議室</p>	<p>下記議題審議報告</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1．当日のタイムスケジュールについて</li> <li>2．運営の確認について</li> </ol>

科目・日時・場所	摘 要
<p>環境音楽2005～音の群れ・時の花・日本の現代風姿考～ 平成17年10月6日（木） 午後6時開場 午後6時30分開演 午後8時45分終演 草月ホール（東京）</p>	<p>《出演》ジョン 海山 ネプチューン（尺八他）、ブルース・スターク（ピアノ）、サイ・イエングアン（ソプラノ）、ピーター・バラカン（ブロードキャスター／トーク）、飯島晶子（ナレーター／司会進行）</p> <p>《曲目》 スターク… 朧月夜、My Favorite Things、花、Softly, As in A Morning Sunrise、里の秋、Nepali Bicycle Song イエングアン… 宵待草、初恋、赤とんぼ、愛する小鳥よ、アヴェ・マリア、モーツァルト『魔笛』より“夜の女王のアリア” ネプチューン… 鶴の巣籠もり、Blue Bamboo、Kamogawa、High on Five、West of Somewhere 他</p> <p>《後援》文化庁、社団法人日本音楽著作権協会 《協力》テムコジャパン 《寄稿》協会理事・関西大学教授 小川博司（「J」の謎～「Jポップ」をめぐる）、サウンドスケープ研究 田中直子（日本の音の魅力を探る～「きく」力を深めるメディアとしての音） 《デザイン》ファンスペースファクトリー（阿部正二） 《舞台製作》office SOGA（曾我傑）</p>
<p>（ブロック会議）</p> <p>北陸・信越地区ブロック会議 平成17年11月17日（木） ゆのくに天祥（加賀市）</p> <p>中国・四国地区ブロック会議 平成18年1月26日（木） 三光荘（岡山市）</p> <p>東海・近畿地区ブロック会議 平成18年3月16日（木） 関西文化サロン（大阪市）</p>	<p>下記議題審議報告</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1．協会事業進捗状況報告</li> <li>2．各社現況報告</li> <li>3．その他</li> </ol> <p>下記議題審議報告</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1．協会事業進捗状況報告</li> <li>2．各社現況報告</li> <li>3．その他</li> </ol> <p>下記議題審議報告</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1．協会事業進捗状況報告</li> <li>2．各社現況報告</li> <li>3．その他</li> </ol>

科目・日時・場所	摘 要
<p>( B G M協会セミナー )</p> <p>第16回 B G M協会セミナー 平成17年10月7日(金) 海運クラブ303号室ほか</p> <p>第17回 B G M協会セミナー 平成18年2月14日(火) プラザエフ “コスモス”</p>	<p>テーマ : 『 B G Mのこれからを考える 』</p> <p>基調講演 『 成功する環境音楽企画の立て方～コンセプトからプレゼンまで～ 』</p> <p>講師 / 協会理事・東海大学名誉教授 泉山中三氏</p> <p>分科会 「データに見る B G M業界の動向」</p> <p>話題提供 / 総務委員会著作権部会長・ビクターアークス(株)SP 営業部部長 大塚英昭氏</p> <p>分科会 「 I Tと B G M 」</p> <p>話題提供 / スバル・エム(株)代表取締役社長 齋藤正志氏 オーピチューン(株)取締役 贅川和彦氏</p> <p>分科会 「環境音楽企画の分野別事例」</p> <p>話題提供 / 協会理事・東海大学名誉教授 泉山中三氏</p> <p>テーマ : 『 勤労者のメンタルヘルスと音楽 』</p> <p>講演 『 オフィスワーカーを対象としたメンタルヘルスへの B G M の効果と役割～平成16年度調査研究発表～ 』</p> <p>講師 / (株)エルエー企画代表 木山良知氏</p> <p>講演 『 音楽はカウンセラー 』</p> <p>講師 / 三井化学(株)本社健康管理室上級カウンセラー 東條芙紗恵氏 (以上、広報委員会)</p>
<p>( 発行 )</p> <p>事業報告・計画</p> <p>名簿</p> <p>B G M協会報</p> <p>T O N E <sup>2</sup>通信</p>	<p>平成16年度事業報告書・収支計算書 平成17年度事業計画書・収支予算書 ( 総務委員会 )</p> <p>平成17年度会員名簿 ( 総務委員会 )</p> <p>Vol.22 『 成功する環境音楽企画の立て方 』 協会理事・東海大学名誉教授 泉山中三氏氏 (以上、広報委員会)</p> <p>Vol.43 / 4月 Vol.44 / 6月 Vol.45 / 8月 Vol.46・47 / 12月 Vol.48 / 平成18年2月 ( 広報委員会 )</p>

科目・日時・場所	摘 要
J B A 資料	<p>B A 資料37 『オフィスワーカーを対象としたメンタルヘルスへのBGMの効果と役割～精密機器メーカー調査事例から～』 エルエー企画 木山良知氏・小川哲太郎氏</p> <p>J B A 資料38 『勤労者と音楽～メンタルヘルス、快適職場環境との関わり～』 フリーライター、ハウス・ミュージシャン、 日本音楽家ユニオン運営委員 中井紀夫氏</p> <p>J B A 資料39 『音環境デザインの現況と可能性～音・音楽の在り方をめぐって～』 二松学舎大学講師・宮城女学院大学講師 田中直子氏 (以上、研究開発委員会)</p>
(協賛・後援・協力)	<p>協賛</p> <p>ジャパンショップ2006 会期：平成18年3月7日～10日 開場：東京ビッグサイト 主催：日本経済新聞社・(財)店舗システム協会 (広報委員会)</p> <p>協力</p> <p>J A S R A C 講座『音の力』 主催：(社)日本音楽著作権協会</p> <p>第1回「音楽の不思議な力～音楽が酒類・食品の味を良くする」 講師：体感音響装置開発者 小松明 日時：平成18年3月8日(水) 午後7時～8時45分 会場：けやきホール</p> <p>第2回「空間や環境を活かす音楽」 講師：音環境デザイナー・環境音楽作曲家 小久保隆 日時：平成18年3月23日(木) 午後7時～8時45分 会場：けやきホール</p>
(各種届)	<p>登記</p> <p>資産総額変更登記(7月) 役員変更登記(7月)</p>

科目・日時・場所	摘 要
文化庁	平成16年度事業報告・決算届（7月） 平成18年度事業計画・予算届（平成18年3月） 公益法人現状調査 公益法人概況調査 公益法人株式保有状況調査 公益法人ホームページ開設状況調査 <span style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</span> （10月）

一 般 会 計 収 支 計 算 書  
平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

(単位：円)

1. 収支計算の部

(1) 収入の部

勘定科目	予算額	決算額	差額	備考
1 基本財産運用収入	20,000	3,568	16,432	
2 会費収入	19,680,000	19,029,160	650,840	
正会員会費収入(甲)	5,760,000	5,760,000	0	96万円×6社
同    (乙)	10,560,000	10,450,000	110,000	26.4万円×43社
賛助会員会費収入	3,360,000	2,819,160	540,840	
3 寄付金収入	0	5,000,000	5,000,000	
4 セミナー等の収入	1,200,000	0	1,200,000	セミナー等収入は特別会計に計上
5 雑収入	300,000	334,000	34,000	
当期収入合計(A)	21,200,000	24,366,728	3,166,728	
前期繰越収支差額	14,826,000	16,976,924	2,150,924	
収入合計(B)	36,026,000	41,343,652	5,317,652	

(2) 支出の部

勘定科目	予算額	決算額	差額	備考
1 事業費	16,500,000	17,603,445	1,103,445	音環境保全基金含む
2 管理費	9,400,000	9,400,410	410	
3 基本財産繰入	100,000	0	100,000	
4 予備費	2,000,000	0	2,000,000	
当期支出合計(C)	28,000,000	27,003,855	996,145	
当期収支差額(A) - (C)	6,800,000	2,637,127	4,162,873	
次期繰越収支差額(B) - (C)	8,026,000	14,339,797	6,313,797	

2. 支出の部明細

(1) 事業費支出明細

勘定科目	予算額	決算額	差額	備考
事業費	16,500,000	17,603,445	1,103,445	
会議費	770,000	1,419,086	649,086	セミナー、ブロック会議含む
臨時雇賃金	100,000	515,987	415,987	職員療養対策含む
旅費交通費	480,000	383,010	96,990	
通信運搬費	340,000	308,680	31,320	
消耗品費	60,000	51,161	8,839	
印刷製本費	1,100,000	981,696	118,304	
諸謝金	2,490,000	2,556,483	66,483	
雑費	660,000	317,133	342,867	
イベント開催費	3,300,000	0	3,300,000	
事業引当繰入支出	1,000,000	5,000,000	4,000,000	音環境保全基金設立
非人件費計	10,300,000	11,533,236	1,233,236	
人件費計	6,200,000	6,070,209	129,791	

(2) 管理費支出明細

勘定科目	予算額	決算額	差額	備考
管理費	9,400,000	9,400,410	410	
会議費	600,000	139,310	460,690	
臨時雇賃金	100,000	239,593	139,593	職員療養対策含む
旅費交通費	100,000	90,430	9,570	
通信運搬費	150,000	231,152	81,152	
消耗品費	100,000	143,162	43,162	
印刷製本費	350,000	342,385	7,615	
光熱水料費	190,000	158,834	31,166	
賃借料	2,160,000	2,340,000	180,000	更新料1か月分加算
保険料	20,000	11,530	8,470	
諸謝金	600,000	541,160	58,840	
租税公課	100,000	78,500	21,500	
事務機器リース料	650,000	854,070	204,070	機器及びプログラムソフト
雑費	250,000	128,048	121,952	
非人件費	5,370,000	5,298,174	71,826	
給料手当	3,150,000	2,830,060	319,940	
中退金掛金	110,000	116,680	6,680	
退職金	0	0	0	
福利厚生費	770,000	1,155,496	385,496	法定福利費、検診
人件費	4,030,000	4,102,236	72,236	

# 特別会計収支計算書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

(単位：円)

## 1. 収支計算の部

### (1) 収入の部

勘定科目	予算額	決算額	差額	備考
1 事業収入	0	1,901,501	1,901,501	
セミナー収入	0	613,000	613,000	
刊行物収入	0	150,640	150,640	
イベント開催収入	0	1,137,861	1,137,861	
当期収入合計(A)	0	1,901,501	1,901,501	
前期繰越収支差額	0	155,045	155,045	
収入合計(B)	0	1,746,456	1,746,456	

### (2) 支出の部

勘定科目	予算額	決算額	差額	備考
1 事業費支出	0	3,452,135	3,452,135	イベント開催費支出
2 管理費支出	0	0	0	
当期支出合計(C)	0	3,452,135	3,452,135	
当期収支差額(A) - (C)	0	1,550,634	1,550,634	
次期繰越収支差額(B) - (C)	0	1,705,679	1,705,679	

収支計算書総括表  
平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

(単位：円)

科 目	合 計	一般会計	特別会計	予算額
・ 収入の部				
1 基本財産運用収入	3,568	3,568	0	20,000
2 会費収入	19,029,160	19,029,160	0	19,680,000
3 事業収入	1,901,501	0	1,901,501	1,200,000
4 寄付金収入	5,000,000	5,000,000	0	0
5 雑収入	334,000	334,000	0	300,000
当期収入合計 ( A )	26,268,229	24,366,728	1,901,501	21,200,000
前期繰越収支差額	16,821,879	16,976,924	155,045	14,826,000
収入合計 ( B )	43,090,108	41,343,652	1,746,456	36,026,000
・ 支出の部				
1 事業費	21,055,580	17,603,445	3,452,135	16,500,000
2 管理費	9,400,410	9,400,410	0	9,400,000
3 基本金繰入支出	0	0	0	100,000
4 特定目的預金支出	0	0	0	0
5 予備費	0	0	0	200,000
当期支出合計 ( C )	30,455,990	27,003,855	3,452,135	28,000,000
当期収支差額 ( A ) - ( C )	4,187,761	2,637,127	1,550,634	6,800,000
次期繰越収支差額 ( B ) - ( C )	12,634,118	14,339,797	1,705,679	8,026,000

# 正味財産増減計算書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

(単位：円)

項 目	金 額	
. 増加の部		
当期収支差額	4,187,761	
基本金積立増加額	0	
当期積立金増加額	5,000,000	
研究調査等引当預金額	0	
資 産 増 加 額 合 計		812,239
. 減少の部		
資産減少額	0	
基本金積立金取崩額	0	
資 産 減 少 額 合 計		0
当期正味財産増減額		812,239
前期繰越正味財産額		32,995,479
期 末 正 味 財 産 額		33,807,718

# 貸借対照表

平成18年3月31日現在

(単位：円)

項 目	金 額	
・資産の部		
1. 流動資産		
現金及び預金	12,525,142	
未収会費	1,354,000	
未収金	6,000	
前払費用	180,000	
流動資産合計		14,065,142
2. 固定資産		
基本財産		
定期預金	11,000,000	
その他の固定資産		
基本金積立金	300,004	
電話加入権	153,600	
敷金	720,000	
研究調査等引当預金	4,000,012	
音環境保全基金引当預金	5,000,000	
固定資産合計		21,173,616
資 産 合 計		35,238,758
・負債の部		
1. 流動負債		
未払金	1,295,149	
前受金	0	
預り金	135,891	
流動負債合計		1,431,040
負 債 合 計		1,431,040
・正味財産の部		
1. 正味財産		33,807,718
2. 負債及び正味財産合計		35,238,758

財 産 目 録  
平成18年3月31日現在

(単位：円)

項 目	金 額		
. 資産の部			
1. 流動資産			
現金及び預金			
現金	320,523		
普通預金（三菱東京UFJ銀行麹町中央支店）	925		
普通預金（三菱東京UFJ銀行麹町中央支店）	10,202,517		
普通預金（みずほ銀行麹町支店）	1,177		
通知預金（三菱東京UFJ銀行麹町中央支店）	2,000,000		
未収会費	1,354,000		
未収金	6,000		
前払費用	180,000		
流動資産合計		14,065,142	
2. 固定資産			
基本財産			
定期預金（三菱東京UFJ銀行麹町中央支店）	8,000,000		
定期預金（みずほ銀行麹町支店）	3,000,000		
その他の固定資産			
積立金（三菱東京UFJ銀行麹町中央支店）	300,004		
電話加入権	153,600		
敷金	720,000		
研究調査等引当預金（三菱東京UFJ銀行麹町中央支店）	4,000,012		
定期預金（三菱東京UFJ銀行麹町中央支店）	5,000,000		
固定資産合計		21,173,616	
資 産 合 計			35,238,758
. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,295,149		
前受金	0		
預り金	135,891		
流動負債合計		1,431,040	
負 債 合 計			1,431,040
差 引 正 味 財 産			33,807,718
負債及び正味財産合計			35,238,758

## 計算書類に対する注記

### 1 重要な会計方針

- (1) 資金の範囲について  
 資金の範囲には、現金・預金（普通預金・通知預金）、未収会費、未集金、前払費用、預り金及び未払金を含めている。  
 なお、前期末及び当期末残高は、下記3に記載する通りである。
- (2) 消費税等の会計処理について  
 消費税の会計処理については、税込み方式である。
- (3) 借入限度額等について  
 長期借入金、短期借入金は無い。

### 2 基本財産の増減額及び残高は、次の通りである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	11,000,000	0	0	11,000,000
合計	11,000,000	0	0	11,000,000

### 3 次期繰越収支差額の内容は次の通りである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期末残高	差 額
現金及び預金	16,353,923	12,525,142	3,828,781
未収会費	1,758,000	1,354,000	404,000
未収金	0	6,000	6,000
前払費用	180,000	180,000	0
合計	18,291,923	14,065,142	4,226,781
預り金	165,204	135,891	29,313
未払金	1,238,840	1,295,149	56,309
前受金	66,000	0	66,000
研究開発事業引当金利息	0	16	16
合計	1,470,044	1,431,024	39,020
次期繰越収支差額	16,821,879	12,634,118	4,187,761

# 監査報告書

社団法人日本バックグラウンド・ミュージック協会  
会長 藤田 勲 殿

平成 18 年 5 月 12 日

社団法人日本バックグラウンド・ミュージック協会

監 事 新 井 省 三 印

監 事 池 羽 伸 美 印

平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日までの平成 17 年度収支計算書、貸借対照表、財産目録、会計帳簿並びに関係書類を監査した結果、公益法人会計基準に準拠しており、適法正確であると認めます。また、理事の業務執行状況に関して、不正な行為、法令または定款に違反する事実は認められませんでした。

以 上